



2021 年度検討テーマ

「常備薬の適切な管理

～造影剤と抗がん剤～

2020 年度から「常備薬の適切な管理」をテーマに掲げ、病棟等における常備薬の適切な管理の推進のための活動を行っている。今年度は造影剤と抗がん剤の管理に焦点をあてた。

部会員一覧

(敬称略・五十音順)

◎=部会長、○=副部会長

赤木 晋介○	公益財団法人大原記念 倉敷中央医療機構 倉敷中央病院
川井 信孝◎	埼玉医科大学国際医療 センター
菅野 浩	社会福祉法人恩賜財団 済生会横浜市東部病院
佐藤 みづほ	独立行政法人国立病院 機構 甲府病院
佐藤 康弘	国家公務員共済組合連 合会 平塚共済病院
高橋 香織	社会医療法人財団 石心会 川崎幸病院
宅和 真由美	パナソニック健康保険 組合 松下記念病院
塚原 みどり	伊勢崎市民病院
米倉 一郎	独立行政法人地域医療 機能推進機構 東京新 宿メディカルセンター

活動報告

アンケート・セミナーの実施

- ・「造影剤の管理状況に関するアンケート」実施
- ・「抗がん剤の管理状況に関するアンケート」実施
- ・薬剤安全セミナー「造影剤」
10月16日開催（シンポジウム形式、オンライン開催）
> [開催報告](#) / [後日配信](#)
- ・薬剤安全セミナー「抗がん剤」
1月29日開催（シンポジウム形式、オンライン開催）
> [開催報告](#) / [後日配信](#)

成果・発表内容等

- ・アンケート結果
> [「造影剤の管理状況に関するアンケート 集計結果」公開](#)
> [「抗がん剤の管理状況に関するアンケート 集計結果」公開](#)
- ・会員病院提供資料の公開
> [「造影剤と抗がん剤の適切な管理に関する資料」公開](#)

総括

医療機関において、薬剤部門以外に配置される常備薬は様々なベネフィットがある一方、薬剤師による監査や調製がされずに投与される場合が多く、医療安全上のリスクを多く含んでいる。薬剤安全部会では、常備薬の適切な管理に焦点を当てて、薬剤安全セミナーを開催し、会員病院間の情報共有を行ってきた。

昨年度からは会員病院の皆様から常備薬の管理に関するアンケートにご協力いただき、その結果をセミナーで報告し情報共有してきたが、2021 年度はテーマを造影剤と抗がん剤とし 2 回のセミナーを開催した。

アンケートやセミナーを通じて会員病院の現状を知ることができ、また各施設での様々な取り組みを情報共有することができた。セミナーでの発表をはじめ、会員病院のご協力により提供された貴重な情報は協議会の Web サイトから閲覧できるようにしている。是非ご覧いただき、自施設での常備薬管理にお役立ていただきたい。

(部会長・川井 信孝)